

ハンググライディングシリーズ規則

1-1. 【FAI Sporting Code】

1. ハンググライディングシリーズの競技規定は、FAI Sporting Code の General Section と Section7 を前提として設定されている。参加選手はその双方を良く理解した上で大会に参加すること。

1-2. 【ハンググライディングシリーズ年度】

1. 年度は1月1日に始まり、12月31日に終了する。(大会成績の公式発表される日付で管理される)

1-3. 【対象大会】

1. シリーズランキング対象となるのは、JHF が公認したハンググライディングシリーズの大会のみ。
2. 世界選手権選抜ランキングのポイントが与えられるのは、上記の大会と、別途（海外獲得ポイント換算規定）による大会のみ。

1-4. 【ハンググライディングシリーズ登録】

1. 参加希望者は、JHF ハング競技委員会ホームページから WEB にて必要事項を記入し登録する。所定の口座に登録料の納入が確認された時点から有効とする。
2. 用紙による登録を希望する者は、所定のエントリー用紙に必要事項を記入し、登録料を添えて申込する。エントリーが受け付けられた時点から有効とする。
3. その年度のシリーズ未登録選手は、前年度登録していた場合でも、前年度の順位から与えられるゼッケンを有効としない。

1-5. 【ハンググライディングシリーズランキング】

1. シリーズランキング対象大会中の各フライト得点から、各選手の得られる得点を計算し、計上本数分だけ加算してランキングを決定する。

各選手に与えられる得点は、フライト得点に参加人数の係数を加味したものとする。

各選手の得点 = 選手のフライト得点 × 参加人数係数

参加人数係数 = $1.0 - 0.01 \times (50 - \text{競技参加人数})$

ただし、参加人数係数の最大値は 1.0 とする。

2. 日本選手権の得点は、その得点を 10%加算する（日本選手権係数）。
3. 合計得点の高い者から順にランキングを与える。
4. 合計得点の同じ者は、係数を加味する前の得点の合計が多い者を上位とする。
5. 計上できるフライト要件はフライト成立要件に準ずる。
6. 年間を通して、計上本数は以下の通りとする。

DQ0.5 が 13 本以上 5 本計上

10～12 本 4 本計上

7～9 本 3 本計上

4～6 本 2 本計上

1～3 本 1 本計上

1-7. 【世界選手権選抜ランキング】

2. その年度内に計上できる3大会の合計ポイントによりランキングをつける。
ただし、選考は前年のポイント50%とその年のポイント100%の合計ポイントとする。
海外獲得ポイントは3大会のうち2大会までとする。

世界選手権によって得られるポイントは選抜ランキングに計上できないこととする。

3. 計算式は以下の通りとする。

$$\{ ((\text{有効人数}-\text{順位})/\text{有効人数}) \times 50 + \text{順位点} \} \times \text{シード係数} \times \text{大会有効率}$$

50 : 参加人数が50人以下のときは $50 - \{(50 - \text{参加人数}) \times 0.5\}$ とする。

有効人数 : 成立日の半分以上に参加した選手の人数とする。最大値は参加人数とする。

順位点 : 1位-5点、 2位-2点 3位-1点

シード係数 : $(A \text{ シード数} \times 0.02) + (B \text{ シード数} \times 0.01) + (C \text{ シード数} \times 0.005) + 1$

大会有効率 : $\text{ディクオリティの合計} / 1.5$

ただし、これが1を超えた場合は、 $1 + (\text{ディクオリティの合計} - 1.5) / 10$ とし、
最大値を1.5とする。

注意 同順位が複数出た場合は、同順位者を繰り下げた順位までの平均点とする。

参加選手100名の大会で50位が3名であった場合、50位が1名、51位が1名、52位が1名
として、3名の点数を合計し、その合計点を3で割って平均点を算出し、各選手に与える。

1-8. 【世界選手権選抜基準】

1. 日本代表チームは下記の選手を選抜し、チーム枠定員まで世界選手権選抜ランキング上位から選考する。
2. 日本代表チームのうち、前年度選抜ランキング50位以内でプレ世界選手権に参加し、参加選手数の30%以内かつ30位以内に入った日本人選手のうち、最上位の選手1名を選考する。
3. プレ世界選手権に出場し、その成績が10位以内であればその限りではなく、上位3名の選手を選考する。
4. 世界選手権前年の国内ランキングから上位1人を選抜する。
世界選手権選抜ランキングにより選抜された選手と重複する場合は、下位の選手を繰り上げる。
5. 選抜された選手が世界選手権の3か月前までに参加の意思を表明しなかった場合、下位の選手に権利を移行する。